



一問一答方式による

一般質問

平日夜間の初期救急医療センターの設置



長田 忠広

問 平日夜間の初期救急医療センターが必要となる。そこで、どのように取り組むのか。

健康福祉部長 旧岩沼医療圏（岩沼市・名取市・巨理町・山元町）で未整備となっている平日夜間の初期救急体制を整備するという本事業の性格上、今後の取り組みに当たりましては、宮城県のリーダーシップのもと圏域の行政、医師会、二次救急病院との間で十分な協議、調整が必要と考えます。

2市2町でやるのか

問 二次救急（医療体制）の時は、2市2町でなかなかまとまらなかった。この平日夜間（初期救急医療センター）に関しても、本当に旧岩沼医療圏の中でうまくいくのか心配している。そこで、市長として必ず

2市2町でやらなければいけないのか、それとも（話がまとまらない場合）市単独、それとも1市2町でやるのか。

市長 何といっても岩沼市民が、少しでも心配のないような形で救急体制を築いていくことが目標なので、場合によってはいろいろと組み合わせ等も変わるといってもあり得ると思いますが、できるだけ県のリーダーシップに期待し、岩沼としてもできるだけ努力はしていきたいと思えます。

「健幸」宣言都市の推進に向けて



布田 一民

問 地域福祉計画で、健康で幸せになる都市づくりを社会福祉協議会と協働で進めるべきでないか。

市長 行政として計画をつくるに当たり、民間の主体的な役割を担っていただいている社会福祉協議会と十分連携を取りながら進めて

いきます。

問 今後を見据えれば、「健幸都市」づくりが重要である。そこで、総合計画に新たな特別事業を取り入れるべきでないか。

市長 進めるに当たり、具体化に向けて努力をしている最中です。今後も、さらに努力をし、これからの岩沼の進むべき道筋をしっかりとつけることが、大きな役割だと思えます。

健康ポイント制度を

問 仮称「健康ポイント制度」事業の提案です。これは、健康的な生活習慣の定着を促し、動機付けの支援を行う。毎日の健康づくりや健診、健康行事などへの参加をポイントにして、たとえばポイントに応じて、例えばグリーンピアのお風呂利用券や地元商品券また、商店街のラッキーカードポイントの増量などと交換できる事業だがいかがか。

市長 健康づくりのためのウォーキングとか、健康診断をできるだけ受けていただく、このことに効果があるとすれば、いろいろと検討が必要ですよ。

安全・安心に暮らせるまちづくり



渡辺 邦信

問 町内会等からのカーブミラーの設置要望に対して、どのように応えているか。

市長 その都度、現地の状況を把握し、設置基準に基づき対応しています。



カーブミラー

カーブミラー基準は

問 カーブミラー設置の基準をどのように定めているか。

建設部長 設置基準は、①不特定多数の方が通行する交差点である②交差点の角に隅切りがない③運転者が車両、歩行者などの確認が非常に困難である④交通量が多いことの4項目です。